

美濃平坦地における水稻の反当り収量の向上と 収益向上を目指した再生二期作技術の確立

○実施期間：令和８～１２年度

○担当部署：作物部

○区 分：プロジェクト（食料確保・生産力向上プロジェクト）

○研究内容

近年は地球温暖化が叫ばれていますが、水稻にとっては生育可能期間が長くなったといえ、これにより注目され始めた水稻再生二期作を栽培可能にするための栽培技術を確立します。

また岐阜県では、食料自給率（カロリーベース）が全国平均よりも低く、県民に安定的に食料を供給することができるよう「米」政策を含め農業政策の在り方を見直す時期となっており、「米」をターゲットに安定供給に資する技術の開発が必要です。

そこで、県内での栽培技術が確立されていない水稻再生二期作に取り組み、特に美濃平坦地における水稻再生二期作に適した栽培条件（地域、時期、品種等）や栽培技術（施肥、防除等）を確立します。



「水稻再生二期作」は、いかに「ひこばえ」を栽培するかがテーマ

- ひこばえが発生しやすい品種は何か？
- いつまでに移植をすれば、ひこばえが生長して収穫ができるか？
- 肥料は必要か？ どのような種類の肥料が良い？ どれくらい必要？
- 病害虫の防除は必要か？ カメムシが寄ってこないか？
- 病害虫ばかりでなく、鳥害が発生しないか？
- 現地の生産者が栽培しやすい（他の作業計画を邪魔しない）再生二期作とはどのような栽培体系になるのか？